



みんなで学ぼう 防災知識

海南小学校5年生……
海部高校防災クラブの「防災出前講座」



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **55** (2020.2)

おもな
内容

行政報告 7P
一般質問 11 ~ 13P

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 小山 慎

12月10日開会。台風19号に伴う大里松原海岸の浸水及び砂の堆積状況について、現地を巡視後、所管する議案等について説明を受け、当委員会に付託された、要望2件について審議を行った。

条例関係

○ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告による給与に関する法律が施行され、海陽町職員の給与の改正を行う。

○ 町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例
海部線においてバス停

予算関係

の大井と富田を廃止。なお、大井・富田については、平井線・相川線が運行しており、公共交通の空白地帯とはならない。
○ 水道給水条例の一部を改正する条例
加入金の統一改正。水道料金・メーター使用料も統一する改正。

○ 令和元年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ2億6033万円を追加し、総額それぞれ78億8852万円とする。

総務費

・町税還付金

〔356万円〕

固定資産税について、非課税である協同組合の

建物に課税していたため還付する。

農林水産費

・森林整備加速化林業飛躍事業補助金

〔246万円〕

海部森林組合が実施する森林整備加速化林業飛躍事業で、高性能林業機械であるプロセッサ1台の導入事業に対するもの。
・農山漁村未来創造事業補助金
〔85万円〕
浅川漁協の全自動製氷

器導入の補助金。

・県営漁港改修事業負担金
〔2800万円〕
舩奥漁港水産物供給基盤機能保全事業の補助金。

委員の間 舩奥漁港の改修はあと何年掛かるのか。

答 現段階では8年間の事業計画。

消防費

・海南駅前スロープ手すり改修
〔100万円〕

土木費

・県営砂防工事負担金

〔442万円〕

急傾斜地崩壊対策事業で、浅川・舩浦・久保地区それぞれの負担金。

公債費

・地方債元金償還金

〔1億8381万円〕

平成21年度に借り入れた臨時財政対策債の繰上償還による。

特別会計補正予算

・浅川・海部・穴喰それぞれの公共下水道事業特別会計補正予算は、条例改正による人件費の追加補正。

・川西簡易水道事業特別会計補正予算
配水池の流量計変換器設置の補正予算。

・海部簡易水道事業特別会計補正予算
条例改正による人件費の追加補正と、漁火配水池の投込式水位計の更新と避雷機設置のための補正。

・上水道事業会計補正予算
条例改正による人件費の補正。

要望関係

○ LPガスのGHP設置促進に関する要望書

まだ実績も少なく、その他にも方法があるとの意見から、継続審査となった。

その他

・総務課より、去る8月5日、三浦町長と那賀町長が知事に2点の要望を行った報告。

1点目は米軍機による騒音測定装置の増設。

2点目はホームページによる目撃情報の周知。県は、10月からホームページに目撃情報を掲載しており、騒音測定装置は、令和2年1月末に川上出張所に設置予定とのこと。

・危機管理課より、台風19号被災箇所との現況と今後の対応について説明があった。

被災箇所についてはそれぞれ完了した箇所の報告と、未着手の箇所については県と協議対応中であるとのこと。

主な事業については、左のページに特集しています。



大里松原海岸の巡視

災害に負けない施設のために



漁港改修箇所（台風19号）

**県営漁港
改修事業負担金
2800万円**
県 営の鞆奥漁港防波堤の改修事業に
対する負担金です。
（鞆浦漁協の分担金は300万円です。）

通りやすい道を目指して

**県営道路局部
改良事業
負担金
319万円**

県 道上階津奥浦線のう
ち、相川砂瀬地区の
道路改良（用地購入費等）
に対する負担金です。



細くカーブの続く上階津奥浦線

空き家の利活用を進めます



改修前



改修後

**空き家改修
支援事業補助金 350万円**

補 助金を追加し、今年度14件
の申し込みに対応します。

文教厚生常任委員会

委員長 原 ひろみ

12月9日開会。所管する議案等について説明を受けた。

条例関係

○ 奨学金貸与条例の一部を改正する条例

学校教育法が一部改正され、平成31年4月1日より施行されたことを受け、町条例も改正するもの。専門職大学、専門職短期大学が追加されるもの。また併せて高等専門学校関連などの文言を明確にした。

指定管理

○ 穴喰保育所の指定管理

恵の園福祉会の指定を3年間延長するもの。

委員の問

子どもの人数

と職員数について。

答 子どもは56名、職員は常勤9名、非常勤6名、調理員2名である。

契約関係

○ 令和元年度LED光源搭載内視鏡システム購入契約

10月25日指名競争入札により、
契約金額…485万円、
契約相手…アダプトメディア

委員の問

購入理由は。

答 現在の機器は、平成23年に購入し、老朽化しているためと、使用頻度が高いためにLED経鼻内視鏡を穴喰診療所に購入する。

予算関係

○ 令和元年度一般会計補正予算
児童福祉費

・穴喰保育所委託料

「497万円」

入所児童の増加により追加補正。

・春休み未就学児預かり保育 「34万円」

・衛生費

・海岸漂着物撤去運搬委託料 「406万円」

台風19号による、穴喰大手海岸と那佐湾が対象。

・教育費

・準要保護世帯の新入学児童や生徒に就学準備の援助を入学前に支給するため小学校で50万6千円、中学校で28万7千円であり、入学前3月に支給。

・中学校費の工事請負費 「1千万円」

穴喰中学校のトイレ洋式化7基分。監理委託料は44万円。

○ 特別会計補正予算

・国民健康保険特別会計補正予算・後期高齢者医療特別会計補正予算・介護保険特別会計補正予算
給与改正に伴う人件費などの補正予算。

○ その他

プレミアム付き商品券事業

申請率が31・9%と少ないため、申請期間を令和2年1月末まで延長する。

要望関係

○ 令和2年度理科教育設備整備費等補助金予算計上について
○ 学校教材の計画的な整備推進について

両要望について、教育委員会から、本町では教材や設備は必要時購入しており、今後学校と相談をしながら、補助金が必要ときは活用していきたいとの説明があり、審査の結果、継続審査となった。



県内のALT26名と「イングリッシュキャンプ」を楽しむ小中高校生



昼食のバーベキュー

主な事業については、左のページに特集しています。

快適な学校環境のために



トイレ改修する宍喰中学校

**中学校費
トイレ改修費
1044万円**

実 喰中学校の校舎各階と体育館にある男女トイレを、それぞれ1基ずつ洋式温水便座に改修する工事請負費と委託料です。

新しい機器で 検査します



新しくなった内視鏡

実 喰診療所の従来の機器は、購入から8年が経過したため、LED光源搭載の最新機器に更新しました。

**LED光源搭載
内視鏡システム
購入契約
485万円**

海岸を きれいにします



那佐湾の漂着物の状況

**海岸漂着物
撤去運搬
委託料
406万円**

台 風19号の高波により、ゴミが海岸に打ち寄せたため、宍喰大手海岸・那佐湾のゴミを撤去します。

第4回定例会

議案の審議

令和元年第4回定例会は、12月9日開会、町長より16議案、委員会より1議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、12月12日閉会した。

条例関係

- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告により職員の給与を改正するもの。
- ・奨学金貸与条例の一部を改正する条例
- ・町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例
海部線の大井・富田停留所を廃止するもの。
- ・水道給水条例の一部を改正する条例
令和2年4月分からの水道料金を改正するもの。

承認関係

- ・指定管理者の指定について
施設の名称 … 宍喰保育所
指定する団体 … 社会福祉法人 恵の園福祉会
指定の期間 … 令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

契約関係

- ・LED光源搭載内視鏡システム購入契約について
契約金額 485万円
契約相手 (株) アデプトメディカル
納期 令和元年12月13日～令和2年1月31日

予算関係

- ・一般会計補正予算(第6号) 2億6033万円 ↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 事業勘定 10万円 ↑
施設勘定 26万円 ↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

12月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億5,096万4千円	8.3
地方譲与税	0	8,870万円	1.1
利子割交付金	0	110万円	0.0
配当割交付金	0	390万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	390万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億2,180万円	1.5
自動車取得税交付金	0	530万円	0.1
環境性能割交付金	0	170万円	0.0
地方特例交付金	0	690万円	0.1
地方交付税	0	36億2,598万6千円	46.0
交通安全対策特別交付金	0	80万円	0.0
分担金・負担金	300万円	7,082万5千円	0.9
使用料・手数料	0	6,073万7千円	0.8
国庫支出金	52万3千円	4億3,383万1千円	5.5
県支出金	455万5千円	5億1,268万5千円	6.5
財産収入	0	4,469万8千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	30万2千円	7億3,840万8千円	9.4
繰越金	2億13万5千円	3億83万9千円	3.8
諸収入	941万5千円	3億890万2千円	3.9
町債	4,240万円	9億584万6千円	11.5
合計	2億6,033万円	78億8,852万1千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	2万9千円	6,907万4千円	0.9
総務費	862万4千円	13億3,924万5千円	17.0
民生費	952万4千円	18億6,29万1千円	22.9
衛生費	431万円	7億7,879万1千円	9.9
農林水産業費	3,241万3千円	4億6,601万8千円	5.9
商工費	195万2千円	2億2,876万9千円	2.9
土木費	786万9千円	10億2,558万6千円	13.0
消防費	12万2千円	4億9,533万5千円	6.3
教育費	1,167万7千円	6億2,506万2千円	7.9
災害復旧費	0	3,960万円	0.5
公債費	1億8,381万円	9億8,137万7千円	12.4
諸支出金	0	2,389万1千円	0.3
予備費	0	948万2千円	0.1
合計	2億6,033万円	78億8,852万1千円	100.0

注釈
↑ 増額
↓ 減額

予算関係

- ・一般会計補正予算(第5号) 300万円 ↑

委員会提案

- ・航空法を守り危険な低空飛行訓練を行わないよう求める意見書

第5回臨時会

議案の審議

第5回臨時会は、10月7日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

条例関係

- ・附属機関設置条例の一部を改正する条例
「町立海南病院改革検討委員会」を設置し加えるもの

契約関係

- ・海南庁舎等ESCO事業に係わる改修工事請負契約について
契約金額 2億7852万円
契約相手 (株) 四電工 徳島支店
工期 令和元年10月8日～令和2年2月29日

経営改善と改革に取り組む

町長 三浦 茂貴

「住み良い町の 実現」

会計年度任用職員制度は、1月には全職種を対象に公募を行い、2月に選考試験を実施する予定であり、スムーズな制度移行ができるように準備を進めている。

ESCO事業で現在休業しているB&Gプールは令和2年3月1日にリニューアルオープンする予定である。

プールを利用されているお客様には大変ご不便をお掛けしておりますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

海部野根道路の整備推進について、知事から、県が宗喰インターチェンジの事業主体となることで、整備の加速化への「切り札」とするとの方針が

示された。

今後とも、国・県・町の緊密な連携のもと、「海部野根道路」の早期供用に向け、全力で取り組んでいく。

平成30年度特定検診・特定保健指導の受診率とともに徳島県下1位となり、快挙である。

水道料金改定に向けての住民説明会を町内14カ所で行った。

来年度からの新料金での運用に向け準備を進めていく。

海南病院の改革について、厚生労働省に「再編・統合の必要な病院」として海南病院が名指しされた。

病院内に若手・中堅職員を構成員とするタスクフォース（注1）を設置し、さらに、外部有識者らによる改革検討委員会

を設置し、病院の諸課題の再検証を行っている。海陽町の地域医療を支える上で必要な病院であるので、存続できるように努めていく。

「にぎわうまちの 実現」

漁火の経営健全化に向けて、10月12日に道の駅とリビエラしきいのレストランの統合、また、11月1日には道の駅をリニューアルオープンして、産地直送の市場として生まれ変わっている。

今後は、このエリアが観光の拠点として、住民や観光客の憩いの場になることを期待している。

ふるさと納税制度を利用した海部川風流マラソンのガバメントクラウドファンディング（注2）では、11月末現在で目標額100万円を上回り123万1千円の寄附金を頂いた。

全国からの多大なるご支援もいただき、ボランティアの方々に気持ちよく

くおもてなしをしていただけのような取組も考えしていきたい。

「はぐくむまちの 実現」

イングリッシュキャンプは、県下より26名のALTが集結し、まぜのおで行った。

町内の小中高生合わせて48名が日本文化を英語で伝える活動や英語ゲーム、体験留学の発表など、有意義な活動になった。

子育て支援の充実として、子育て支援センター「あのね」が10月1日、海部庁舎3階に開所した。0歳から3歳までの子供を持つ親が対象で、11月現在で登録者数は40名となっている。

子育て世代の皆さんの、心の拠り所となっていると、大変好評をいただいている。

プレミアム付き商品券事業は、11月末現在で対象者2930人中937人に引換券を交付しており、31.9%の申請率となっている。

11月末を締め切りとしていたが、申請者が少ないため11月末に締め切りを伸ばし、まだ申請にきていない人には再度個別通知をする予定である。



神野橋開通式（令和元年11月16日）

（注1）タスクフォース
緊急性の高い、特定の課題に取り組むために設置される特別チーム。
（注2）ガバメントクラウドファンディング
町などが事業資金の用途を限定し、賛同者から寄付金を募集すること。

要望活動

道路は、地域活性化や観光振興などの「活力の道」であり、救急・救命や災害時の復旧復興活動で重要な役割を果たす「命の道」として、安全・安心な生活を確保するため根幹的な基盤です。

このため、議会では「四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟」及び「海部郡・安芸郡議長連合会」など高知県とも協力しながら、道路整備の要望活動を強く行っています。



国土交通省「青木 一彦 副大臣」に要望
……阿南安芸自動車道等整備促進期成同盟会

○ 海部郡・安芸郡議長連合会 要望活動



喜多宏思 徳島県議会議長に要望



飯泉嘉門 徳島県知事に要望

祝 総務大臣感謝状

議員在籍35年以上により、総務大臣から感謝状が贈呈されました。



西山 幹男 議員

意見書

航空法を守り危険な低空飛行訓練を行わないよう求める意見書

低空飛行訓練に不安を感じている住民にとって「せめて国内法を守った飛行をしてほしい」というのは、当然の願いである。

よって本議会は、米軍機の国内法を無視した超低空での飛行訓練の中止を米軍に求めるよう政府関係機関に強く要望する。

審議の結果、異議なく採択しました。

議員研修

○ 海部郡町村議会議員研修会

国土交通省地方整備局徳島河川国道事務所「県南の高規格道路の現状と展望」



開会の挨拶をする高畠会長（議長）



勝田計画課長の講演

○ 全国町村議会議長会 創立70周年記念式典



安倍総理の来賓祝辞

○ 四国地区町村議会議長会 研修会



今年は徳島県で開催

議会のうづき

10月1日から
12月31日まで

10月

- 1日 地域子育て支援センター「あのね」開所式
- 1日 議会運営委員会
- 1日 議会広報編集特別委員会
- 2日 四国四県町村長・議長大会（香川県）
- 5日 DMV3台完成記念式典
- 7日 全員協議会
- 7日 第5回臨時会
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 16日 四国地区町村議会議長会研修会（徳島市）
- 18日 四国8の字ネットワーク東南部総会（安芸市）
- 23日 海部郡町村議会議員研修会（海陽町）
- 25日 四国8の字ネットワーク東南部要望（高松市）

11月

- 2日 未知フォーラム2019 in 阿南（阿南市）
- 8日 海部郡・安芸郡議長連合会要望（徳島市）
- 13日 町村議会議長全国大会（東京）
- 14日 徳島県議長会視察研修（兵庫県）
- 16日 神野橋開通式
- 20日 四国8の字ネットワーク東南部要望（東京）

12月

- 3日 議会運営委員会
- 3日 全員協議会
- 9日 第4回定例会（1日目）
- 9日 文教厚生常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 総務産業建設常任委員会
- 12日 第4回定例会（2日目）
- 12日 議会広報編集特別委員会

議案審議

条例について

Q1

町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例



佐川議員（関連質問）

路線の空白地帯となっている榎木屋地区について以前質問したが、その後どうなっているのか。

森崎まち・みらい課長

現在の体制では、余裕がない為、今後のニーズを見据えながら改めて検討する。また、他制度として、10月から始まっている「行き活き高齢者外出応援事業」のタクシー利用も対応できる部分はある。

指定管理について

Q2

指定管理者の指定について
（穴喰保育所）

長岡議員（関連質問）

町内の保育所には、町営、民営、公設民営があるが、保育士の給与差はどの程度あるのか。

大崎福祉人権課長

町は条例で定めているが、民間の給与に関しては把握できていない。

一般会計補正予算
（第6号）

Q3

水産業費
分担金（歳入）
〔300万円〕

見吉議員

漁港改修について、8年計画の事業の中で、漁業組合の支払いが厳しいときの対応はどうするのか。

協議の中で負担の軽減を考えるのか。

三浦町長

事業は、漁業組合が主となって実施しており、負担金が支払えないのであれば、県は事業を行えないようになる。

負担の軽減については、他の事業との関係もあるので、総合的に検討しなければならぬ。

Q4

中学校費工事請負費
〔1000万円〕

小山議員

穴喰中学校のトイレを洋式化とのことだが、全てを洋式化するのか。また、体育館はどうするのか。

中内教育次長

全てを洋式化ではなく、各階の男女それぞれ1基を洋式にする。体育館も同様に男女1基ずつ洋式化する。

Q5

児童福祉費 扶助費
〔13万円〕

富田議員

子育てのための施設等利用給付事業とのことだが、支払先はどこか。

大崎福祉人権課長

ファミリーサポートセンターの利用に関するもので、住民税非課税など利用料が無償化になる世帯を対象に、個人が支払った後に償還払いをする。

元気農場施設の体制拡充をしては

〈町長〉 拡大するのは難しい

問 元気農場の職員人事体制を拡充して、現業職員の男子3名程度を募集し、その内1名は専門農学部を卒業か、農業高校卒を採用して放棄田畑を開墾、開拓して、農産物を植えて、採れた農産物はふるさと納税品として使用していく、定着してきたら有機農産品または有機特別栽培品種として利用したら、海陽町のブランド農産品に育っていくと考察されるが。

答 森農林水産課長
元気隊は主に野菜の集荷・配送や見守り・買い物支援を行い、農産物の生産は行っていない。耕作放棄地解消対策として、かいふ農協で開拓・管理・生産作業を実施している。多面的機能支払事業や中山間直接支払事業を活用し、農地保全活動を行っている地域もある。また、徳島県農地中間管理機構では、貸し手



富田 寛 議員

義務教育費(給食費等)の負担軽減の拡充を

〈教育次長〉 本町の補助額は県内トップクラスである

問 県下で学校給食費については、神山町が全小・中学校、また三好市立中学校も無料となっている。海陽町も無料化への取り組みによって多子世帯や子育て世帯への経済的負担軽減を図り、他町村からの転入促進の土壌、環境整備を図っていくべきと考えるがどうか。

答 中内教育次長
子育て支援少子対策として、海陽町子どもあゆみ事業で給食費の一部助成を実施している。また第3子以降の多子世帯に

については、全額補助をしている。給食費の助成は、昨年度で1千万円余りを助成しており、県内でもトップクラスである。議員質問の無償化を試算すると、年間2570万円余りが毎年必要となってくる。

答 三浦町長
ご提案のような使い方では、それだけで基金の枯渇を招いてしまう。現在取り組んでいる少子化対策も長期的なものが多く、先を見据えた中で基金を有効に活用していく。



農家を回り集荷する元気隊

漁火の入浴券使用割引制度について

〈経営戦略課長〉 遊遊NASAは宿泊客優先にしている

問 今現在ホテルリビエラしきいでは入浴料割引制度として3カ月、6カ月、年券として割引制度があるが、遊遊NASAはない。(株)漁火の同じ施設なので2施設の共通パスポートとして使用できないか。そして町外の利用者客は割り増し料金としては。

答 横経営戦略課長
入浴割引制度の導入については検討したが、利用者は夕方から夜に使用が多く、また遊遊NASAの風呂は、規模的に小さいため宿泊客の入浴に支障をきたす恐れがあるので導入していない。温浴施設の運営については予想以上に経費が掛かっており、今後経費の削減に向け、リビエラの温浴施設の改修を検討していく中で、料金についても見直していく必要がある。

松原塩害被害の対策は

〈農林水産課長〉

確認後、植栽を計画的に進めていく



佐川 富美 議員

問 大里松原が、台風19号の高潮により浸水、また防波堤を砂が越し、管理道がなくなり、松林の中は砂で埋め尽くされ

る被害を受けた。そのため松林が、塩害で褐色化している。今なお海水を含んだ砂などが、松の根元を覆っている。

早急に対処しなければならぬと思うが、これからの取り組み方法はどうに考えているのか。

答 森農林水産課長

近年、大里

部落が日垂ふるさと振興財団の助成金事業や、国立研究開発法人と連携した抵抗性黒松を実証事業で植樹をしている。台風後に大里部落、県、町で協議。今後、被害状況の詳細を確認し、



高潮で浸水した松林

別途植栽を計画的に進めていく。

問 南海トラフ巨大地震が来た場合、防潮林の役目を果たす松は大丈夫なのかと、住民も危惧している。確かな情報、取り組み、現在の進捗状況など住民に伝える必要があると思うが。

答 森農林水産課長

確かな調査結果が確認されたら、広報誌等に掲載していく。

資源ゴミの出し方の周知を

〈住民環境課長〉周知を徹底していく

問 毎月2回、資源ごみリサイクルが行われている。ゴミカレンダーにも、出し方などの注意事項が記載されている。トレイについては白のみとなっており、納豆のパックが一つでも混じっているとリサイクルにはならない。またペットボト

ルも同じで、ラベルをはがしてないと焼却処分となる。注意書きのパネルもあるようだが、小さいので、大きく表示の必要がある。

きれいに持って行っても、廃棄処分されるのであれば何のためにしているのか分からない。もう一度、確かな方法を周知する必要があると思うが。

答 福岡住民環境課長

正しいごみの出し方について、広報海陽、ケーブルテレビを利用して徹底したい。パネルについては、地域によりまちまちなので、現状のままが適切という地域もあり、今後の課題にしたい。再生ごみに対する住民の意識高揚を図りゴミの減量化に努めたい。

問 蛍光管および乾電池についても、各庁舎で回収しているようだが、ついつい燃えないゴミに捨ててしまいがち。回収方

法を検討してはどうか。

答 福岡住民環境課長

資源ごみと一緒に回収しているが、周知が充分できていないようなので、広報でお知らせしていく。

問 海洋生物に悪影響をあたえるマイクロプラスチックゴミも問題になっている。ある自治体では、自動販売機にペットボトルを入れない取り組みをしている。ゴミ削減についての施策は。

答 福岡住民環境課長

資源ごみとして回収しているものは確実にリサイクルにつながる。マイバッグでの買い物、飲料は水筒を利用し、プラスチックゴミを出さない工夫、古紙回収奨励制度の利用、小型家電の回収も継続していく。これらを周知していくことで、ゴミの減量化につなげていきたい。



叶岡 徹議員

野生鳥獣被害対策は

〈農林水産課長〉
狩猟免許取得の啓発に努める

者を中心とした、数々のイベントが行われている。また、県猟友会が初心者講習会を開催している。町として、これらイベント情報や試験情報などを広報誌等で啓発に努め、狩猟免許の所有者を増やしていきたい。

問 町内において野生鳥獣被害はどれぐらいあるのか。狩猟者免許等の取得状況は。また今後、免許保有者の減少対策等をどうするのか。

答 森農林水産課長
県によると、2018年度の農作物の被害は約200万円である。狩猟免許の所有者を増やすため、県による、若

大里松原海岸 内堤防高上げを

〈建設課長〉大里部落と
ともに県に要望している

答 黒木建設課長
地域住民の生命、財産を守る上で重要であると認識している。県に対して、砂利の移動、防潮堤の内堤防の高上げ及び不施工区間の事業着手、防潮林の潮害対策について大里部落と町で要望を行った。今年度は擁壁天より2メートル砂利を下げる予定である。引き続き要望を行い大里部落とも協力し取り組んでいく。

問 台風19号において、大里松原海岸が多大な被害を受けた。海岸の砂・砂利が堤防の上まで上がってきた。その砂等を海に戻すのとこのとであるが、それよりも、現在の内堤防を3メートルから5メートル程高さを上げて、今後の津波対策も兼ねるよう、県に強く要望をしてはどうか。

旧浅川小学校 の管理は

〈管財課長〉適正な
管理に努める

して、町民への払い下げをしてはどうか。

答 長岡管財課長
プールについては、渇水期に防火水槽として利用するため、水を張った状態となっている。浮遊物の除去など適正な管理に努めてまいりたい。

問 浅川小学校廃校後の管理はどうなっているのか。特にプールに浮遊物が多く溜まっているが、防火水槽としては、ホースの水詰まりになるのではないか。また校内備品の処理と

答 中内教育次長
校舎の中には児童机・椅子・楽器などがあるが、いずれも古く、活用や売却できる状態ではない。今後廃校の利活用や方向性が決まった時点で処分を考えたい。



旧浅川小学校のプール

海部道路の 要望活動を強くすべき

〈町長〉
どんどん要望していきたい

答 三浦町長
主に海部道路、そして国道55号や193号の要望なども就任後、中央へ10回以上、地方整備局や、県庁などへも頻繁に行っている。今後も海陽町のためになるならどんどん要望活動をしていきたい。

問 知事に対する町からの要望活動の内容は。特に高規格道路はいつできるのか。防災を考え、1日でも早くできるように強く要望すべき。

答 黒木建設課長
阿南・安芸自動車道、海部・野根道路および隣接する地域防災公園へのアクセス道路の整備を図ることを要望。

海部・野根道路については、現在、用地測量に入っているが、完成見込みについては未定。

般
質
問



柿原キヨ子さん

神野字柿谷

満97歳
(大正11.3.8生)

・元気の秘訣

我慢しないでストレスをためない。

天気の良い日は外に出る。

・日常生活は？ 生きがいは？

肉と甘いものが好き。

畑の世話をする。

・人生の思い出は？

子や孫・ひ孫の成長。

新旧 神野橋の渡り初め。



自宅玄関前で 令和2年1月11日



編集後記

令和の新しい年の始まりは、驚くべき暖冬で過ごしやすくはありますが、近年増大化する自然災害の予兆のようで何だか不気味です。備えだけは万全に心掛けておきましょう。

ともあれ、今年はオリンピックの年でもあり、我々も明るい話題を提供できるよう心掛け、議会活動に取り組んでまいります。

議会だよりは、写真を多く取り入れ、文章を簡潔にし、誰もが気軽に読んでいただけるよう、知恵と工夫を出し合っています。

皆様のご意見・ご要望をお聞かせいただき、より良い広報紙を目指していきます。
(橋本)



菜の花（多良にて）